

# 塗り壁・アルル仕上げ 施工マニュアル

～海外のような独創的でやさしい塗り壁仕上げ～

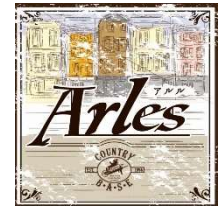


※アルルは特殊な仕上げ材料となります。  
注意事項やポイントをお読みいただき施工をしてください。

2021.11改訂

↓アルル仕上げの流れの動画は下記より↓





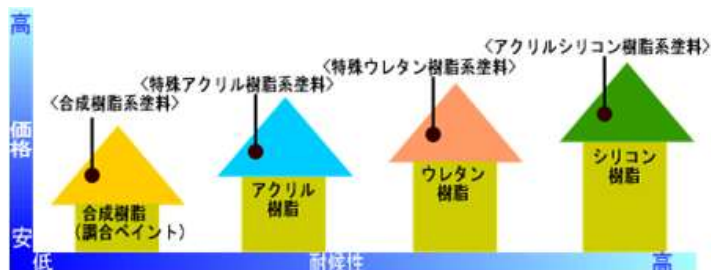
## 「アルル」への想い

フランスにある「アルル」という南仏プロヴァンス地方にある都市があり、ゴッホの絵画の舞台としても知られています。

南仏特有な雰囲気と実際に訪れたこの街の建物をイメージされた仕上げ材が「アルル」です。

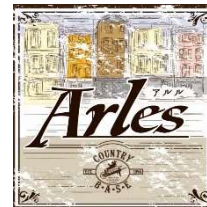
他には無い独創的な施工方法と厚みを生かした3次元のエレガントな仕上がりが皆様の素敵なお家づくりの後押しを致します。

使用する道具はシンプルで、騒音もなく、汚染もありません。シリコン素材の水溶性ベース、無臭、無毒。表面の質感は硬く、傷、汚れに対しても強く、割れ、水および耐候性に対して抵抗力があります。



check☞□

## アルル塗り壁仕上げ 主要材料



Arles (アルル) ※アクリルシリコン仕上げ材

塗厚一度に最大5mm厚まで塗り付け可能

- 質量：25kg
- 色対応：白
- 乾燥時間：24時間～48時間 ※冬場～72時間程度
- アルル仕上げ/3～5mm厚：施工面積 6㎡ 前後目安
- フラット仕上げ(2回塗り)/1mm厚：施工面積約15～16㎡
- 保存期間：12か月

## アルル仕上げに必要なその他の材料・ツール



リリーサー (揮発性透明液)

テクスチャーローラー施工時に使用

- 容量：3.79L (1ガロン) /本
- 施工可能範囲：約40㎡/本
- 加圧式スプレーで噴霧
- 200㎡の場合は5本程度必要

アルル  
テクスチャーローラー  
※フレーム別途

13mm中毛ローラー  
※市販品  
※フレーム別途

加圧式スプレー  
Chapin#1046(緑)  
約1.5L容量

タッチアップ用  
・ブラシ(刷毛)  
・霧吹きスプレー



Arles Tool Set (アルルツールセット)

購入、又はレンタル可

複数人での同時作業が出来ます。

- アルルテクスチャーローラー×2本
- 13mm中毛ローラー×2本(市販品)
- フレーム×4本(市販品)
- 加圧式スプレー#1046×2本
- タッチアップ用ブラシ(刷毛)×2本
- 霧吹きスプレー×2本



## オプションとして表面保護コートの推奨



ロータスクリア (超撥水塗料)

透明の撥水コーティング剤 (原液使用)

- 容量：4L/本
- 施工可能範囲：約80㎡/本(スプレーガン吹付1回塗装)
- 施工可能範囲：約40㎡/本(ローラー塗装1回塗り)
- 耐久年数：約5年 ※環境により異なる

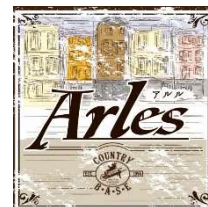
check☞□

## アルル仕上げ施工手順①

※乾燥目安:48時間※冬場72時間～

※下地ベースコートからプライマーまでは別途Sto施工資料を参照ください。

※アルルの仕上げ施工は1面毎に行ってください。



### 1:プライマー塗装

完全乾燥し平たん化されたベースコート下地の上からプライマー塗装まで済ませてください



### 2:プライマー乾燥

全面にプライマー塗装が施され、表面の乾燥確認後、アルルの工程に進んでください。



### 3:仕上げ材アルルの開封

直射日光の当たらない場所で開封後、一切の混入物が入らないように周辺環境にも注意をして下さい。



### 4:加水

現場にて気温や季節に応じて800～1000ml程度の濁りのないキレイな水で加水します。冬場の4℃以下の低温下での施工は不可です。



### 5:攪拌

約3分程度しっかりと高速の攪拌ミキサーで全体を均一に練って下さい



### 6:塗り付け(下擦り)

攪拌後は速やかにステンレス鍔でアルルを施工壁面に塗り付けて下さい。一度に厚みを付けずに下擦りを必ず行ってください。1面、又は全面を先ず下擦り完了させてください。



### 7:塗り付け(厚み調整)

下塗りを終え乾燥後、塗り付けは3mm～5mmでの厚みで凹凸等の段差を形成していきます。3-5mmでのムラを残したままでの塗り付けでも可能です。



### 8:塗り付け後①

テクスチャーローラーで模様をつけますので3～5mm範囲での厚みがあるか表面を確認してください。



### 8:塗り付け後②

テクスチャーローラーで模様をつけますのでラフな塗り付け状態でも問題ありませんが極端な段差がないようにしてください。

※表面硬化まで48～72時間程度は養生期間として仕上げ表面に触れないように注意を払ってください。

※施工完了当日から最低3日後までは雨が降らないか確認してください。

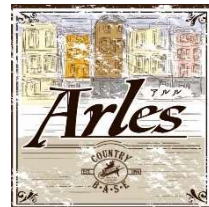
※雨が降ると流れてしまう恐れがあります。4℃以下では施工は控えてください。

※完全硬化までの目安は夏場3日程度、冬場7日程度です。

check☞□

## アルル仕上げ施工手順②

※乾燥目安:48時間※冬場72時間～



※テクスチャーローラー施工のタイミングはアルル塗値付け後の表面を触って手に材料が付いてこない位の状態になったタイミングで進めてください。



### 9: リリーサー噴霧とアルルテクスチャーローラー施工

加圧スプレーを使って施工面とローラー本体にリリーサーを噴霧しながら、施工面にローラーを撫でるように転がしていきます。



### 10: ローラーは方向を変えながら転がします。

テクスチャーローラーは模様が一定にならないように方向を変えながら転がし、ローラーのラインも残らないよう表面全体を均一に施工してください。



### 11: 全体にムラなく模様が付いたか確認します。

一度離れた場所で確認し全体に模様が付いていれば大丈夫です。ローラーが入れない場所じゃブラシを使ってテクスチャーをテクスチャーを付けてください。



### 12: 中毛ローラーで押さえ

推奨の多用途中毛ローラーを使用して表面を軽く撫でるように転がし、自然で柔らかい表面仕上げを形成します。



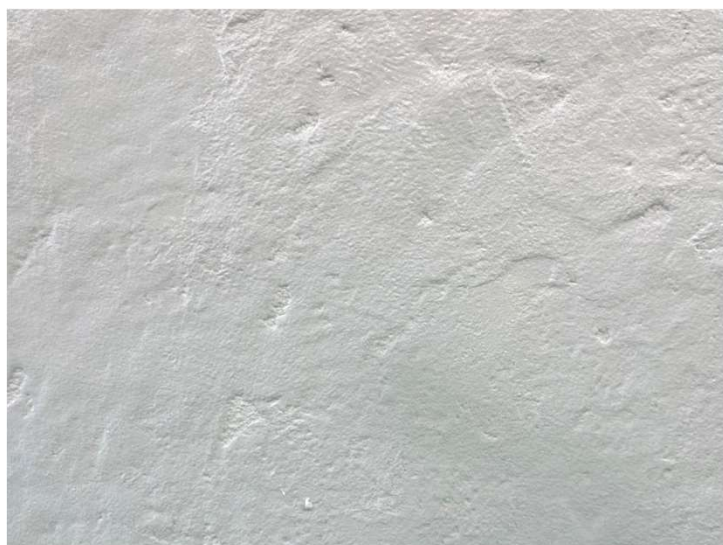
### 13: 中毛ローラーも方向を変えながら転がします。

同様に転がす方向の切り替えとローラーのラインに注意を払い軽く押さえしていきます。



### 14: アルル完成

全体にローラー押さえが完了したら全体を確認し、仕上がり問題なければ施工完了です。



## アルル仕上げ完成

指定の材料とツールを使うことで安定した仕上げの工程を進める事が出来ます。

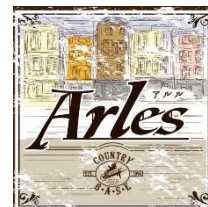
コテの塗り方、厚みの強弱、使用するローラーで仕上がり具合に様々な応用も加える事が出来ます。

※表面硬化まで48～72時間程度は養生期間として仕上げ表面に触れないように注意を払ってください。  
※施工完了当日から最低3日後までは雨が降らないか確認してください。  
※雨が降ると流れてしまう恐れがあります。4℃以下では施工は控えてください。  
※完全硬化までの目安は夏場3日程度、冬場7日程度です。

check☞□

## フラット仕上げの手順

※乾燥目安:24時間※冬場48時間～



※下地ベースコートからプライマーまでは別途Sto施工資料を参照ください。

※アルルのフラット仕上げは2層構造で施工します。



### 1: プライマー乾燥

ベースコートがメッシュも透けもなく平滑であればプライマー塗装し、乾燥後にアルル仕上げ材の施工に進んでください。



### 2: 仕上げ1層目

アルルのフラット仕上げには2層施工が必要です。まずは1層目の下擦りとして薄く平滑に、且つ均一に伸ばして下さい。



### 3: 1層目の下擦り

少ない回数でこてムラを極力消しながら擦りを済ませてください。材料が硬く感じるときは少量の霧吹きにて材料を軟化させて仕上げてください。



### 4: 1層目完了

一旦養生時間を置き、表面のベタ付きが無くなるまで完全乾燥させてください。冬場であれば2層目は翌日となる場合があります。薄塗りなので乾燥は早いです。



### 5: 仕上げ作業の連携

面積に合わせて足場の縦列・横並びで連携を取り、塗り継ぎ跡が残らないように足場での位置と役割を明確にしてから施工を行ってください。



### 6: 2層目塗り付け

1層目の乾燥後、2層目を1mm程度の最終仕上がりを目安に塗り付けをします。



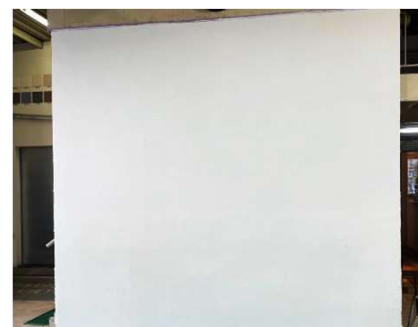
### 7: 2層目平滑化

1層目と同様ですが、極力少ない回数でこてムラを消しながらフラットを仕上げていきます。材料が締まりだす前に余計な材料を取り除きながら速やかに進めてください。



### 8: 2層目仕上げ

材料が引っ張るようになれば霧吹きで表面を軟化させてスムーズに施工性を維持してフラットを仕上げててください。



### 9: フラット仕上げ完成

フラット仕上げ完成  
※2層工程は必須となります。最後に一度見回りを行って作業を終えてください。

※表面硬化まで24時間程度は養生期間として仕上げ表面に触れないように注意を払ってください。

※冬場は気温次第になりますが2層目は翌日以降の工程で組む事を推奨します。

※雨が降ると流れてしまう恐れがあります。4℃以下では施工は控えてください。

※完全硬化までの目安は夏場1日程度、冬場3日程度です。

## 施工上の注意 ※必ず確認してください。

- アルル仕上げは1面毎に進める事を推奨します。  
塗り付け後に追い掛けるタイミングでローラーで撫でると施工面が柔らか過ぎる場合がありますので通常は1面塗り付け完了後にローラーの工程に進むことが理想的ですが、施工面の状態を見ながら現場判断で行って下さい。
- 雨天時、降雪時は施工を中止してください。雨や水分によって仕上げが流されたり、過度な吸水で乾燥期間が長く掛かる場合や、硬化不良に繋がる可能性があります。
- アルルは厚塗り可能ですが養生期間を長く必要とします。  
仕上げ予定日から最低3日7程度は降雨予報のない日を選択して施工を行ってください。
- 表面乾燥までの目安は夏場48時間程度、冬場72時間程度～です。  
完全硬化(内部乾燥)まで夏場3日程度、冬場7日程度です。
- 施工は気温4～32℃の範囲内での施工は控えてください。  
低温時での施工は凍結を起こし大きな支障を引き起こす可能性があります。  
高温時では急激な吸水によるドライアウトの恐れがある為、直射日光を避けての施工を行ってください。  
材料は温度管理や直射日光に晒さないように管理と置き場に注意を払ってください。
- 雨天時、降雪時は施工を注意してください。  
及び、施工の数時間後や翌日の降雨予報がある場合も施工を控えてください。
- 10 分間の平均風速 10m/s 以上の場合は施工を中止してください。
- 足場の不安定な状態での施工は危険を伴いますので禁止し、設備を整えて施工できる環境を作ってください。
- アルル施工後は指定の養生時間範囲内では、施工面に何事も触れる事がないように侵入禁止の案内管理、及び必要な養生を行ってください。
- オプションの撥水塗料ロータスクリアの施工を行う場合は、アルルの完全硬化を確認しての施工としてください。

## 施工後は

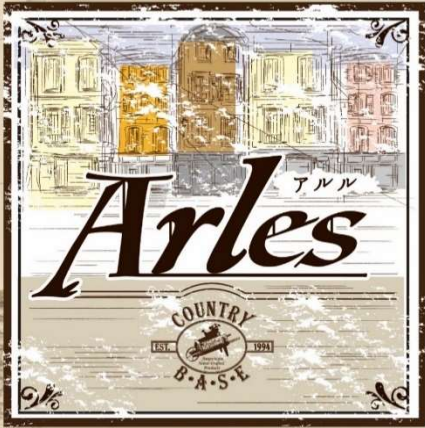
- 仕上げ施工後は、塗り残しや一部へアクラック、汚れがないか一度確認を行い、必要な場合はタッチアップや汚れの除去を行い養生外しや掃除を行ってください。
- 仕上げは必ず1缶程度は余った材料を適する保管場所で保管してください。  
後日タッチアップや補修が必要な場合は同じ材料を使う必要があります。
- 施工後、雨が降る可能性が発生した場合は、雨養生を行ってください。

## 製品の安全要件

- 主な成分は水溶ベースの成分に対して安全ですが、施工中に不快感や皮膚アレルギーを感じた場合は、すぐに使用を中止し医師の診断を受けてください。
- 攪拌中は手袋と保護マスクを着用してください。
- 工法の技術と製品の材料安全性に関する情報は製造会社の同意を得て入手できます。
- 製品は、子供が食べないように、涼しい場所に保管する必要があります。保管期間については、未開封で12か月を目安に使用してください。



厚みがつけられる  
外壁用塗り壁材



【製品の特徴】

- 南フランスのプロヴァンス地方の街で見たモルタルを何度も塗り重ねたようなモコモコな外壁。そのアンティークで可愛い雰囲気を再させることが出来る厚みの付けられる外壁材です。
- もっちりした素材はしっかりと壁に密着し、凹凸感を残せますテクスチャーのついたローラーや左官の技術で様々な表現が楽しめます。

【使用上の注意】

- 使用前に十分に攪拌してください。
- 施工の際は気温10度以上で雨が当たらないようにして下さい。
- 専用のサイディングの上にベースコート・メッシュ・プライマー、最後にアルルを仕上げとして施工してください。
- 施工性に於いて最大 500m<sup>2</sup>加水が可能です。
- 開封後は使い切ってください。
- 施工は左官コテをご使用ください。

販売者：株式会社カントリーベース  
所在地：石川県金沢市駅西本町 4-1-17  
連絡先：076-232-7710

商 名：Arles (アルル)  
用 途：外壁塗り壁材  
保管条件：直射日光を避け涼しい場所  
質 量：25kg/ 缶  
施工範囲：厚み 1mm の場合 最大約 17 m<sup>2</sup>  
3mm の場合 最大約 6m<sup>2</sup> 施工可能

**COUNTRY BASE INC.**  
<http://www.country-base.com>

アルルは株式会社カントリーベースのオリジナル仕上げ材料です。